

2016.10

# さつき台の新人たち

さつき台の新人たちは、入職後6か月が過ぎ、職場にも慣れユニフォームも馴染み自立へ向かっています。しかし、疾病を持つ患者さんに関わる前に、もっと疾病の理解をする必要があり自己学習が必要なことを気付き始めているようです。そんな新人たちを先輩たちは、患者さんから目を離さず、新人からも目を離さず、温かく見守っています。 **看護部長：栗原**

入職し病棟勤務になってから、看護師としての責任の重さを痛感する日々です。私は、急性期病棟に勤務していますが、急性期病棟では、急に状態が変化することもあり、学生時代には経験したことのない状況に戸惑う事も多くありました。その都度知識が追い付かないことがあり、先輩から指導を受け学んでいます。まだ、知識不足で勉強していく日々ですが、少しずつでも急変時に対応出来、患者さんに寄り添える看護ができることが目標です。

渡辺



4月に入職し精神科スーパー救急病棟に配属となりました。当初は、緊張や不器用なため、技術面では思うようにできず自信を無くしかけていました。そんな時、プリセプターはじめ先輩方が懇切丁寧に指導して下さい課題は多々ありますが、自信がついてきたように思います。病棟の雰囲気は明るく、些細な事でも相談しやすい環境があると思います。患者さんやご家族の力になれるよう頑張ります。

杉田

新人研修 7月～10月 ・入職3か月フォローアップ研修 ・ハイリスク薬・麻薬について ・血糖測定の方法 ・インスリン注射の方法・抗がん剤について ・褥瘡予防対策 ・入職6ヶ月フォローアップ研修 ・エンゼルケア ・中心静脈栄養法 ・災害看護・新人看護師同士で情報交換会

先輩より：芦澤

病棟では、スタッフ全員で新人の成長を見守っています。プリセプターとして私は、新人たちが自ら学習し、理解を深めていけるように関わること、わからないことを「わからない」と伝えられるような関係づくりを心がけています。先輩たちに支えられながら、新人と一緒に成長できる環境です。

防災訓練



先輩より：下野

私が新人指導を行うに当たり心にかけている事は、「いつも見方でいる」ことです。技術面は、病棟全体で支援していく体制が整っていますが、それでも初めての現場で戸惑ったり、落ち込んだりすることがあると思います安心して。成長してもらえよう、一番の味方として色んな事に一緒に向き合っていきたいと思っています。